

平塚らいてう賞「特別賞」受賞のご報告

この度、AEGIS-Women が第18回平塚らいてう賞「特別賞」を受賞しましたので、ご報告いたします。平塚らいてう賞は、平塚氏の日本女子大学卒業100年を記念して2005年に創設されました。この賞は、男女共同参画社会の実現に関する研究や活動などにおいて、顕著な功績を挙げた個人や団体に授与されるものです。（平塚らいてう賞 <https://www5.jwu.ac.jp/st/grp/raiteu/>）

贈賞式は2024年12月21日に日本女子大学で行われました。会を代表して、河野恵美子会長、野村幸世前会長、大越香江副会長の3名で出席させていただきました。



会長のご挨拶

消化器外科女性医師の活躍を応援する会（AEGIS-Women）会長
大阪医科薬科大学 一般・消化器外科 河野 恵美子

平素より消化器外科女性医師の活躍を応援する会（AEGIS-Women）の活動にご協力いただき、ありがとうございます。この度、AEGIS-Women が平塚らいてう賞「特別賞」を受賞しましたのでご報告申し上げます。

受賞理由は以下の通りです。

「消化器外科女性医師の活躍を応援する会の活動は、出産や育児でキャリアを中断され医師としての夢を断念しがちな女性医師に対して、ネットワーキングと手術技術習得の機会を提供するというものである。その意義を、会の主要なメンバーが行った調査・分析で明らかにしている点も評価できる (Kono E, et al. JAMA Surg.; Okoshi K, et al. BMJ)。この結果から、女性医師が男性医師に比べて、低難度の手術においてさえも明白に経験量

に差があるということが明らかにされている。このような男女差を埋めるべく、託児所、キッズセミナーを併設しワークショップを開催している点も評価された。活動を継続していくことにより、今後、女性医師の割合の上昇などが期待できるだろう。今後の期待を含め、特別賞に値すると選考委員全員の意見が一致した」

約9年間にわたる地道な活動が評価され、内閣府男女共同参画局「女性のチャレンジ支援賞」とダブル受賞することができました。これも、ひとえに会員の皆様のご支援とご協力の賜物と深く感謝しております。

今後も、消化器外科領域における男女共同参画を推進し、すべての外科医がそれぞれの能力を最大限に発揮できる社会を目指して努力いたします。引き続きご指導ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

編集：松永理絵、大越香江